

ボツワナ

主要データ

国名〔英名〕	ボツワナ共和国〔Republic of Botswana〕
面積(km ²)	581,730
海岸線延長(km)	0
人口(百万人)	2.2
人口密度(人/km ²)	3.8
GDP(十億 US\$)	12.86
一人当り GDP(US\$)	5,891.73
主要鉱産物：鉱石	銅、ニッケル
主要鉱産物：地金	銅、ニッケル
鉱業管轄官庁	鉱物・エネルギー・水資源省(Ministry of Minerals, Energy and Water Resources)
鉱業関連政府機関	地質調査所(Department of Geological Survey)
鉱業法	Mines and Minerals Act(1999)
ロイヤルティ	貴石 10%、貴金属 5%、その他鉱物：3%(売上高に対して賦課)
外資法	Foreign Investment Code(2001)
環境規制法（環境影響調査制度、環境・排出基準の有無等）	環境影響評価法(Environmental Impact Assessment Act(2005))
鉱業公社	Bamangwato Concessions Ltd (BCL)
鉱業活動中の民間企業	Cupric Canyon Capital LLC、African Copper Plc 等
近年の鉱業関連問題（資源ナショナリズム、労働争議、環境問題等）	特になし
2015 年以降のトピックス	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2015 年は鉱山売却が相次ぎ、Norilsk Nickel は Tati ニッケル鉱山を 2015 年 4 月に BCL 社に売却、Discovery Metals は Boseto 銅鉱山を Cupric Canyon Capital に 2015 年 7 月に売却した。 ・ 鉱業法改正に向けて鉱物・エネルギー・水資源省で検討中。

1. 鉱業一般概況

ボツワナの鉱業は、輸出収入の過半を占めるダイヤモンドに集中しているが、同国北西には Kalahari カッパーベルトがあり、小規模ながらも銅、ニッケルの鉱山が操業を行っている他、コバルト、白金族、石炭、ソーダ灰、塩類、金及び銀が生産されている。また 2,000 億 t 以上の石炭資源があると推定されており、政府は鉱物資源開発への外国投資を積極的に呼びかけている。なお、同国は鉱業投資国として評価が高く、Fraser Institute (Survey of Mining Companies 2015) による鉱業政策指数 (Policy Perception Index) は 109 カ国中 14 位と昨年に続きアフリカでは最上位を維持している。

政府はダイヤモンド鉱業への依存体制を脱し国内産業の多角化を図るため、製造業、金融業、観光業の振興策を推進しており、鉱業セクターが GDP に占める割合は 2006 年の 46% から近年は 3 分の 1 にまで低下している。現在は持続的な経済成長を目的とした 2016 年までの第 10 次国家開発計画が進められており、鉱業における高付加価値化や下流産業の強化もこれに含まれている。一方、資源価格低迷が同国鉱業を直撃しており、採算が合わないとして Tati ニッケル鉱山及び Boseto 銅鉱山が売却され、Tati ニッケル鉱山を取得した鉱山公社 BCL については、政府から継続して財政支援がなされるべきか検討がなされている。

2. 鉱業政策の主な動き

鉱業法 (Mines and Minerals Act 1999) は、現在改正に向けて鉱物・エネルギー・水資源省において検討が進められている。Kitso Mokaila 鉱物エネルギー水資源大臣は、鉱業法を近代化し、鉱山会社により良い投資環境を提供できる法改正を目指すとして 2016 年 6 月にコメントしているが、改正内容の詳細は明らかになっていない。

なお、現在の鉱業法 (Mines and Minerals Act 1999) では、政府がプロジェクト会社の株式を最大 15% まで購入できる (ダイヤモンドの権益比率については政府との交渉による)。ただし実際に本規定が発動されるかどうかはプロジェクトによって異なる。高付加価値化政策により、製錬事業及びその他製造業関連事業に関しては法人税は低減され、0% から 15% の範囲で交渉される。なお、2015 年 5 月には、コモディティ価格が低迷する状況を受けて、銅生産者の支援を目的に 3 % のロイヤルティの支払いを 1 年間猶予させると Kitso Mokaila 鉱物エネルギー水資源大臣が発表したと報じられた。鉱山の操業停止により多くの失業者が出る事態を懸念しての救済措置とみられる。

表 2-1. 鉱業法 (Mines and Minerals Act 1999) の税制概要

種類	内容
ロイヤルティ	貴石：10%、貴金属 5%、他の鉱物：3% (売上価格に対して賦課)
変動的法人税率 (VITR: Variable Tax Rate)	計算式により、25%~55% 間で変動
資本控除	資本支出の 100% が減価償却可能
損失の繰越	繰越可能
配当の源泉課税	配当の 15%
輸入関税	鉱業で用いられる資機材は関税免除
付加価値税	原則 10% (鉱産物の輸出を含む)。再輸入から 6 ヶ月以内であれば付加価値税 (VAT) の払い戻しが可能。
金属加工業 (切削、研磨、製錬) への課税	税率 15% (基本税率 5% と追加税率 10%)

3. 主要鉱産物の生産・輸入・消費・輸出動向

(1) 主要金属鉱石生産量

表 3-1. 金属鉱石生産量

鉱種	2013 年 (千 t)	2014 年 (千 t)	2015 年 (千 t)	対前年増減比 (%)	世界シェア (%)	ランク
ニッケル	22.8	15.0	16.8	12.3	0.9	18

(出典: World Metal Statistics Yearbook 2016)

(2) 主要金属地金生産量

データなし

(3) 主要金属消費量

データなし

(4) 主要金属輸出量

表 3-2. 金属輸出量

鉱種	2013 年 (t)	2014 年 (t)	2015 年 (t)	対前年増減比 (%)	主な輸出相手国
銅鉱石	94,871	109,421	-	-	南ア、スイス
ニッケル鉱石	22.9	13.9	-	-	南ア

(出典: Global Trade Atlas)

(5) 主要金属輸入量

表 3-3. 金属輸入量

鉱種	2013年(t)	2014年(t)	2015年(t)	対前年増減比(%)	主な輸入相手国
鉄鉱石	482.1	360.1	-	-	南ア
鉛鉱石	32.1	0.0	-	-	南ア
銅鉱石	31.6	0.1	-	-	南ア
チタン鉱石	19.7	3.4	-	-	南ア

(出典 : Global Trade Atlas)

4. 鉱山・製錬所状況

表 4-1. 鉱山一覧

鉱山名	権益所有企業(%)	鉱種	生産量	備考
Boseto 鉱山	Cupric Canyon Capital LLC (100)	銅、銀	-	2015年7月にDiscovery MetalsがCupric Canyon Capitalに権益売却。
Mowana 鉱山	African Copper Plc (100)	銅	-	
Tati (Phoenix) 鉱山	BCL (85)、Government of Botswana (15)	ニッケル、銅、パラジウム、プラチナ	-	2015年4月にMMC Norilsk NickelがBCLに権益売却。
Thakadu/Makala 鉱山	African Copper Plc (100)	銅、金、銀	-	
Selebi-Phikwe 鉱山	BCL (100)	ニッケル、銅、コバルト	-	

(出典 : 各社 HP 等)

表 4-2. 製錬・精錬所生産状況

製錬所名	権益所有企業(%)	鉱種・形態	生産量	備考
Selebi-Phikwe 製錬所	BCL (100)	ニッケル(千t) 銅(千t)	- -	

(出典 : 各社 HP 等)



図 1. 主要鉱山、製錬所位置図

5. 探鉱状況

表 5-1. 探鉱プロジェクト一覧

プロジェクト名	鉱種	所有企業(権益比率: %)
Bolau	ウラン	A-Cap Resources Ltd(100)
Bonnyridge	銅、銀	Guerrero Exploration Inc(100)
Dibete/Takane	銅、銀	BCL(70), Botswana Metals Ltd(30)
Gcwihaba	ウラン、銅、バナジウム、金	Tsodilo Resources Ltd(100)
Gcwihaba	銅、亜鉛、銀	Tsodilo Resources Ltd(100)
Khoemacau	銅、銀	Cupric Canyon Capital LLC(100)
Kihade	亜鉛、鉛、銀、銅、バナジウム	Mount Burgess Mining NL(100)
Letlhakane	ウラン	A-Cap Resources Ltd(100)
Magogaphate	ニッケル、銅、コバルト、銀	BCL(70), Botswana Metals Ltd(30)
Matsitama	銅、銀、プラチナ、金、亜鉛、パラジウム、ロジウム	African Copper Plc (100)
Mid Kalahari	銅、銀、	Discovery Metals Ltd (100)
Ophion	銅、銀	Discovery Metals Ltd (100)
Selkirk	ニッケル、銅、コバルト、プラチナ	Tati Nickel Mining Co Pty Ltd(85), Government of Botswana(15)
South West Kalahari	銅、銀	Discovery Metals Ltd (100)
Xade JV	ニッケル、銅、プラチナ、パラジウム	Impact Minerals Ltd(60), Manica Minerals Ltd(40)
Xaudum	鉄鉱石	Tsodilo Resources Ltd(100)

(出典: 各社 HP 等)

6. 我が国との関係

(1) 日本への輸出

データなし

(2) 日本企業による投資状況等

- ・ JOGMECは2008年7月、同国に地質リモートセンシングセンターを開設し(所在地はハバロネ市)、SADC諸国を対象にリモートセンシングを活用した鉱物資源探査事業及び同国の資源探査技術者への技術研修を実施している。
- ・ JOGMECは2009年10月に豪Discovery Metals社との間で共同探鉱契約(JV契約)を締結し、ボツワナ東部Selebi-Phikwe鉱山の周辺に隣接するDikoloti地域においてニッケル、白金族を対象とした探鉱を開始した。2014年3月には鉱山公社BCLを加えた3社で新たなJV契約を締結し、引き続き探鉱を行っている。

7. その他トピックス

- ・ Norilsk Nickel はニッケル価格低迷を受け採算が悪化しているとして 2014 年 10 月に Tati ニッケル鉱山の 85% 権益を 337 百万 US\$ で BCL への売却すると発表し、2015 年 4 月には売却手続きを完了した。なお、Norilsk Nickel は 2013 年 7 月に、2016 年までに海外事業及び非中核事業から完全撤退すると発表していた。
- ・ 2015 年 6 月のメディア報道によれば、Khoemacau Copper Mining 社は Kalahari カッパーベルト地域の Ghantsi-Chobe 銅・銀プロジェクトについて、2016 年以降鉱山建設を開始するとしていたが、その後建設を開始したという情報はない。同プロジェクトの採鉱量は年間 360 万 t、銅量 5

万 t の見通し。Khoemacae Copper Mining 社は、未開発銅プロジェクトを買収し開発後に売却することを目的に 2010 年に設立されたプライベートエクイティファンドで、Cupric Canyon Capital 社の子会社で、Cupric Canyon Capital 社は英 Barclays 銀行の投資銀行部門が支援を行っている。なお、政府は権益 15% の取得を検討しているとされる。

- ・ 2016 年 7 月の報道によれば、政府は鉱山公社 BCL について追加の財政支援を行うべきか、操業を一時停止するか又は完全に閉鎖するかどうかの決定を行うべく、5 閣僚からなるタスクフォースを立ち上げた。Kitso Mokaila 鉱物・エネルギー・水資源大臣は、政府は BCL には 2016 年 4 月に 1 億 US\$ の融資を行っており、これ以上の財政支援は難しいとの見解を示している。なお、最近の資源価格低迷に加えて、BCL の保有する Selebi Phikwe ニッケル・銅鉱山で 2016 年 5 月及び 6 月に 4 名の従業員が死亡、8 名が重症を追う重大な鉱山事故の発生したことも、BCL 再起を難しくする要因と見られている。

(2016. 8. 15 ロンドン事務所 竹下聡美)